

もっと安心農産物 春どり春菊栽培暦 (令和6年度)

J Aちばみどり 干潟園芸組合野菜部会 もっと安心生産班

1. 土づくり

完熟堆肥を年に一回以上入れ土作りを行なう。(入手先・原料の確認が出来る物)

美駒グリーン

2. 施肥 ☆施肥診断に基づく施肥量の遵守 ☆有機質100%の肥料を使用

	肥料名	施肥量	備考
基肥	味好1号 (6-8-4)	200 kg	2号 (7-2-7) 5号 (8-1-1)
	菜種粕 (5.2-2-1)	100 kg	
	サンライム (有機石灰)	—	
	過石 (粒)	20 kg	
	けい酸加里プレミア34	40 kg	
追肥	味好1号	60 kg	(1回あたり)
	有機アグレット655eco	60 kg	〃
	ともだち843号	60 kg	〃
	ソイルサプリエキス	適時	
	カルプラス	適時	石灰欠乏対策

* 土壌分析結果により適切な施肥を行なう。前作の肥料が残っている場合は施肥量を減らす。

3. 防除

月	管理作業	病虫害の発生推移	薬剤名	希釈倍数・処理量	対象病虫害	備考 (耕種的防除の実施等)	
1月下旬	播種	↑↑ 炭疽病 ハモグリバエ・ベト病 ↓ アブラムシ	チウラム (消毒済購入種子)			○ハウスは、防虫ネットを張り害虫の侵入を防ぐ。	
2月上旬							
中旬							
下旬							
3月上旬	定植			ベストガード粒剤 (定植時、又は収穫3日前迄のどちらか1回の使用)	9 kg / 10 a	アブラムシ類 マメハモグリバエ	害虫対策 ○ハウスの換気・出入口には、ネットを張り外部からの害虫侵入を防ぐ。 ○ハウス周辺の雑草は害虫の住処になるので除草を実施する。 ○ホリバーを吊るし害虫を捕殺する。(ハモグリバエ対策/黄色) ○ハウス内で、春菊以外の作物を作らない。 病害対策 ○病害発生株は、直ちに抜き取り、圃場外に穴を掘って埋める。 ○灌水を一度に行なうと菌核病・炭疽病が発生するので、低圧少量灌水で回数を増やす。
中旬				カスケード乳剤	2000~4000倍	ハスモンヨトウ マメハモグリバエ	
下旬				スクレアフロアブル	2000倍	炭疽病	
4月上旬	収穫 始め			ダントツ水溶剤 Zボルドー	2000倍 500倍	アブラムシ類 べと病	
中旬				サフオイル乳剤	300~500倍	ハダニ類	
下旬							
5月			ダントツ水溶剤	2000倍	アブラムシ類 ハモグリバエ類		
6月			※その他害虫が発生した場合は捕殺又はカウントしない農薬を使用する。				

4. 節減対象農薬の使用状況

節減対象農薬の使用状況					
農薬名	希釈倍数 使用量	使用時期	使用資材名	用途	使用回数
(消毒済購入種子)			チウラム	殺菌	1回
スクレアフロアブル	2000倍	収穫前日迄	マンデストロビン	殺菌	1回
ベストガード粒剤	9kg/10a	定植時	ニテンピラム	殺虫	1回
		収穫3日前迄			
カスケード乳剤	2000～ 4000倍	収穫7日前迄	フルフェノクスロン	殺虫	1回
プレオフロアブル	1000倍	収穫前日迄	ピリダリル	殺虫	1回
ダントツ水溶剤	2000～ 4000倍	収穫3日前迄	クロチアニジン	殺虫	2回

農薬の使用回数にカウントしない農薬

スラゴ	3～5g/m ²	発生時	磷酸第二鉄粒剤	殺虫	発生時
サフオイル乳剤	300～500倍	収穫前日迄	調合油	殺虫	—
Zボルドー (汚れ注意)	500倍	—	銅	殺菌	—

☆みんなで守ろう生産基準